

ELECOM型番：WAB-BE72-M

クイックセットアップガイド

2024 年 12 月 13 日 第 2 版

本製品を正しくご使用いただくために、必ずこの説明書をお読みください。  
各説明書は、使用開始後も大切に保管しておいてください。

パッケージ内容

ご使用前に、次のものが同梱されていることをご確認ください。

<input type="checkbox"/> 製品本体	1 台
<input type="checkbox"/> 専用シリアルケーブル	1 本
<input type="checkbox"/> 壁 / 天井設置用金具	1 枚
<input type="checkbox"/> シリアルナンバーラベル	2 枚
<input type="checkbox"/> ELECOM ロゴステッカー	1 枚
<input type="checkbox"/> クイックセットアップガイド	1 枚
<input type="checkbox"/> 安全にお使いいただくために	1 枚

※ セキュリティカバーは本体取り付け済みです。

オプション品のご案内

本製品は専用のオプション品をご用意しています。必要な場合、別途お買い求めください。

専用管理ツール：WAB-MAT

専用 AC アダプター：WAB-EX-ADP1

主な仕様と工場出荷時の設定値

主な仕様

消費電力	PoE 受電時	22.5W（最大）
	AC アダプター給電時	19.7W（最大）
環境条件	動作時温度	0 ～ 50℃
	動作時湿度	10 ～ 90%（結露なきこと）
外形寸法 (突起部 含まず)	製品本体のみ	(約) 幅 200mm ×奥行 200mm ×高さ 42mm
	セキュリティカバー使用時 (設置用金具含む)	(約) 幅 200mm ×奥行 200mm ×高さ 65mm
質量	製品本体のみ	約 1.5kg
	セキュリティカバー使用時 (設置用金具含む)	約 1.7kg

その他の詳しい仕様は製品ページでご確認いただけます。

設定ユーティリティの工場出荷時の設定値

ユーザー名	admin
管理者パスワード	admin

有線 LAN の工場出荷時設定値（初期値）

LAN 側 IP アドレス	192.168.3.1 (DHCP サーバーから IP アドレスを取得しない場合) ※
---------------	--

※ DHCP サーバーから IP アドレスを取得した場合は、その IP アドレスを利用します。

製品ページのご案内

本紙は本製品のセットアップや主な仕様について説明しています。詳細な設定は「ユーザーズマニュアル (PDF)」をご確認ください。また、製品ページでは管理ツールやオプション品などの情報をご確認いただけます。

https://www.elecom.co.jp/r/s679

各部の名称とはたらき

正面・右側面ここでは LED の主な機能を説明しています。  
詳細な動作についてはユーザーズマニュアル(pdf)をご確認ください。

① — PWR/PD

② — USB

③ — 5GHz

④ — 2.4GHz

⑤ — LINK LAN

⑥ — LINK PD (IN)

⑦ — STATUS

⑧ — PWR

① PWR/PD	PoE 給電機器での動作状態を表示します。
② USB	USB メモリーの接続状態を表示します。
③ 5GHz	5GHz の SSID の使用状態を表示します。
④ 2.4GHz	2.4GHz の SSID の使用状態を表示します。
⑤ LINK LAN	下位回線の接続状態を表示します。
⑥ LINK PD (IN)	上位回線の接続状態を表示します。
⑦ STATUS	本製品のステータスを表示します。
⑧ PWR	本製品の電源の状態を表示します。
⑨ 盗難防止機構	盗難防止用ワイヤーの取付穴です。

天面

(セキュリティカバーを取り外した状態)

① サービスポート	保守用です。使用しません※ 1。
② USB イジェクトボタン	USB メモリーをイジェクトします。(3 秒長押し)
③ シリアルポート	コマンドラインからの設定用です※ 2。
④ リセットボタン	1 ～ 9 秒長押しで再起動、10 秒長押しで初期化を実行します。
⑤ USB ポート	USB メモリーを接続します。
⑥ PD (IN) ポート (10GE)	上位の回線を接続します。
⑦ LAN ポート (2.5GE)	下位の回線を接続します。
⑧ DC ジャック	専用 AC アダプター (WAB-EX-ADP1 (別売)) を接続します※ 3。

※ 1 シールを剥がさないでください。LAN ケーブルを接続しないでください。  
※ 2 専用ケーブル以外は接続しないでください。ご使用になるときはシールを剥がしてご利用ください。  
※ 3 PoE 給電機器を使用する場合は、専用 AC アダプターは不要です。  
IEEE 802.3at に対応する給電機器を使用してください。

背面

①

②

③

専用 AC アダプター  
ケーブルの固定方法

① AC ケーブル 固定ガイド	別売の専用 AC アダプター (WAB-EX-ADP1) を使用する 場合、ケーブルが抜けないよう、フックに引っかけて配線します。
② セキュリティカバー	盗難やケーブルを抜く・挿すなどのいたずらを防止するための カバーです。必要に応じて取り外すことができます。
③ スリット	壁 / 天井設置用金具に本体を設置する際に使用します。

設置について

製品本体には、専用のセキュリティカバーがあらかじめ取り付けられています。  
セキュリティカバーを取り付けることにより、盗難やケーブルを抜く・挿すなどのいたずらの防止になります。

【設置についての注意事項】

- 取り付けは確実に行ってください。不十分な場合、落下などにより事故が発生する恐れがあります。
- 本製品の天井面 / 壁面への取り付けは施工経験のある専門業者、販売店にご依頼ください。設置に不備があると落下の原因となります。
- 本製品を取り付ける天井面 / 壁面の強度が、本製品の質量に十分対応できるかをあらかじめ確認して設置してください。
- 設置箇所の劣化、腐食には十分ご注意ください。劣化、腐食が見られる場合は、安全な場所に設置し直すなどの対策を行ってください。
- 設置用金具付属のボードファスナーは石膏ボード用です。壁の材質や厚さなどによって付属のボードファスナーが使用できない場合は、別途市販のネジやアンカーをご用意ください。

1

付属のネジを使い、壁 / 天井設置用金具を、図のように壁 / 天井へ取り付けます。

① 壁 / 天井設置用金具の取り付け穴がくる位置 (4 ヶ所) にあらかじめ穴をあけ、付属のボードファスナーをねじ込みます。

② 埋め込んだボードファスナーからネジを取り外します。  
このときにボードファスナーのアンカーが開きボードファスナーが固定されます。

③ 上のネジ穴 (2 ヶ所) に②で取り外したネジを仮止めし、壁 / 天井設置用金具を取り付けます。

④ 下のネジ穴 (2 ヶ所) にもネジを取り付け、4 ヶ所ともネジを締めて金具を固定します。

壁 / 天井  
設置用金具

70mm

82mm

設置用金具付属品：石膏用ボードファスナー 4 本

2

セキュリティカバーを上スライドさせて取り外し、ケーブル類を差し込みます。

セキュリティカバーのフックの部分を軽く手前に引き、上にスライドさせてください。

セキュリティカバー

フック

3

セキュリティカバーを再度取り付けます。

4

本体背面のスリットを壁 / 天井設置用金具のレールに差し込みます。

スリット

本体下部の溝と壁 / 天井設置用金具のレールの位置を合わせて差し込んでください。

5

カチッと音がするまで、本体を下にスライドさせます。

本体はカチッと音がしてから手を離してください。  
壁 / 天井設置用金具の取り外しレバーが本体の溝に掛かって固定されます。

取り外し  
レバー

■ 本体を取り外すときは

1

セキュリティカバーを取り外してから、ケーブル類を取り外します。

2

取り外しレバーを壁または天井側に倒しながら、本体を上スライドさせて取り外します。

取り外しレバー

複数台を一括設定できる管理ツール WAB-MATに対応

アクセスポイント複数台を一括管理 効率的な運用を実現！

● 1 人の管理者で効率的に一括管理することが可能  
エレコム製アクセスポイントを一括で管理することが可能です。(最大3000台管理可能※ 1) また、設定も一括で行うことができ、1 人の管理者で効率的な運用が可能です。  
※ 1: 推奨1000台

App OS App OS App OS

仮想化用ソフト

● 仮想化サーバーに対応  
コンピュータの仮想化用ソフト、VM wareやVirtual BOXに  
対応しており、仮想化サーバー上でも使用することができます。

管理ソフト「WAB-MAT」の対応状況は、下記製品ページの「対応機種」にてご確認ください。

http://www2.elecom.co.jp/business/products/WAB-MAT.html

アドミリンク登録のご案内（無料）

機器運用の時間・コストを大幅削減 リモート管理サービス  
アドミリンクは、インターネットを経由して遠隔地に設置した機器と管理者 (Administrator)をつなぐ(Link)、リモート管理サービスです。  
遠隔地からの機器の監視、メンテナンス用の簡易操作が可能となることで機器の保守・管理の手間を削減し、機器管理者の負担を大きく軽減します。

稼働状況の把握	遠隔簡易操作
機器の状態を常に監視、エラーを通知	メンテナンス用の簡易操作ならば、現場作業が不要
稼働状況の共有	設定情報の保存※
保守・管理に関わる人、みんなで危機管理	機器の設定を「アドミリンク」に自動保存

※ WindowsNASは非対応です。

AdminLink

ご利用は無料です。詳しくはWebでご確認ください。

https://www.elecom.co.jp/solution/service/adminlink/

# セットアップ手順

## STEP-1 本製品の設定に使用するパソコンを接続する

本紙では本製品をスタンドアローン環境で設定する場合の手順で説明しています。

DHCP 環境で設定される場合は、初期導入向けのアクセスポイント検索ツールもご用意しております。

詳しくは下記ページの「マニュアル」→「【初期導入向け検索ツール】法人向け無線アクセスポイント検索ツール WAB-MAT Lite」をご確認ください。

<https://www.elecom.co.jp/products/WAB-MAT.html>



### 1 本製品の設定に使用するパソコンのネットワークを設定します。

本製品の設定に使用するパソコンのネットワークを次のように設定します。

IPアドレス	192.168.3.2
サブネットマスク	255.255.255.0



- 固定 IP アドレスで接続するため、本製品を他のネットワークに接続しないでください。
- 本製品は、DHCP サーバーから IP アドレスを取得していない場合、IP アドレスが「192.168.3.1」に設定されます。
- 本製品の無線機能と IP アドレスの工場出荷時の設定値は、次のとおりです。

無線機能	無効（設定画面から有効にします）
IPアドレス	DHCPサーバーから自動取得

### 2 本製品と本製品の設定に使用するパソコンを接続します。

有線 LAN ポートを持つパソコンをご用意ください。

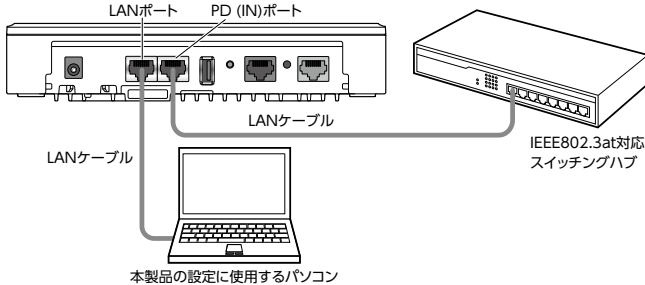


- スタンドアローン環境で設定を行います。
- 他のネットワーク機器を接続しないでください。

#### PoE 給電機器を使用する場合

1 本製品の LAN ポートと、本製品の設定に使用するパソコンを LAN ケーブルで接続します。

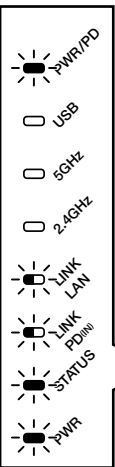
2 本製品の PD (IN) ポートと IEEE 802.3at 対応 PoE 給電機器を LAN ケーブルで接続します。  
本製品に電源が供給されます。



- 必ず IEEE 802.3at 対応 PoE 給電機器を使用してください。IEEE 802.3af 給電機器では本製品が起動できる十分な電力が供給されません。
- IEEE 802.3at 対応 PoE 給電機器は、本製品の PD(IN) ポートに接続してください。本製品に電力が供給されます。
- 本製品と PoE 給電機器を接続する LAN ケーブルには、必ず CAT5e 以上の 4 対 UTP を使用してください。

3 本製品の LED が以下の状態になっていることを確認します。  
(起動完了まで約 40 秒程度)

緑：点灯

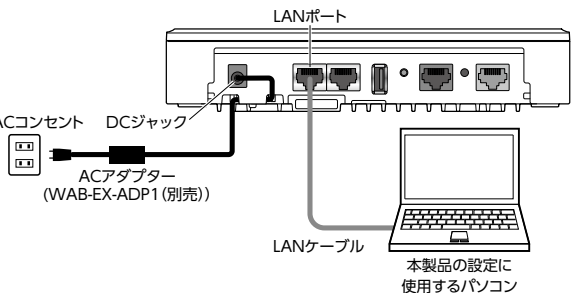


※ 通信状態により点灯または不定期に点滅します。

#### 別売のACアダプター (WAB-EX-ADP1)を使用する場合

1 本製品の LAN ポートと、本製品の設定に使用するパソコンを LAN ケーブルで接続します。

2 本製品の DC ジャックに別売の AC アダプター (WAB-EX-ADP1) を接続し、AC コンセントに AC アダプター (WAB-EX-ADP1) を差し込みます。  
本製品の電源が ON になります。

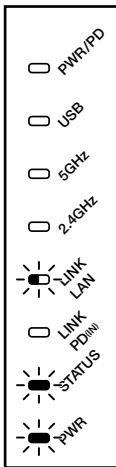


3 本製品の LED が以下の状態になっていることを確認します。  
(起動完了まで約 40 秒程度)

緑：点滅※

緑：点灯

緑：点灯

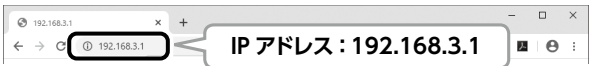


※ 通信状態により点灯または不定期に点滅します。

## STEP-2 本製品の設定画面で無線を有効にする

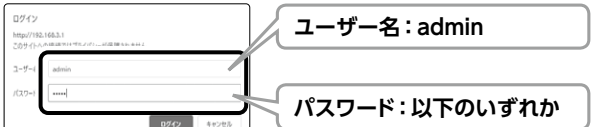
### 1 設定画面へアクセスします。

1 Web ブラウザー (Microsoft Edge、Google Chrome など) を起動し、アドレスバーに次の IP アドレスを入力します。



パスワード画面が表示されます。

2 ユーザー名とパスワードに以下の情報を入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。



ユーザー名	admin
管理者パスワード	admin



セキュリティ確保のため、初期値からの変更をおすすめいたします。

設定画面が表示されます。



### 2 無線を有効にします。

1 設定画面で [無線設定] をクリックします。



※画面例は、[2.4GHz] の場合です。

2 使用する無線モード (2.4GHz/5GHz) の [基本設定] をクリックします。

3 [無線] の [有効] をクリックして選択し、[適用] ボタンをクリックします。

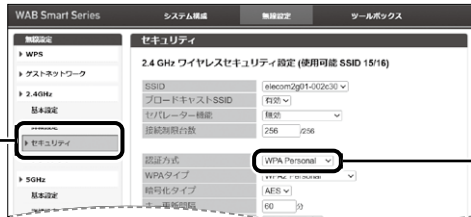


カウントダウンが始まりますので、しばらくお待ちください。

### 3 無線のセキュリティを設定します。

以下は無線設定の一例です。認証方式はご利用の環境に合わせて選択してください。詳細なセキュリティ設定はユーザーズマニュアルをご確認ください。

1 使用する無線モード (2.4GHz/5GHz) の [セキュリティ] をクリックします。



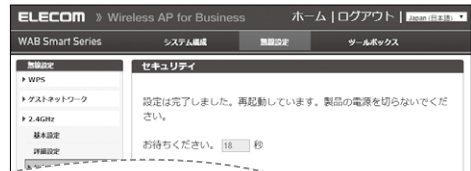
※ 画面例は、[2.4GHz] の場合です。また、ファームウェアのバージョンにより、表示が異なる場合があります。

2 [認証方式] から [WPA Personal] を選択します。

3 [Pre-shared キー] に半角英数 8 ～ 63 文字以内でキーを入力し、[適用] ボタンをクリックします。



カウントダウンが始まりますので、しばらくお待ちください。  
本製品が再起動されると、設定は完了です。



設定画面を終了する場合は、Web ブラウザーを閉じてください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

#### 2.4GHz 帯使用の無線機器について

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の調理器具・産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の放射を停止した上、弊社サポートセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

5GHz帯 (W52/W53) は屋内利用限定です。

・本書の著作権は、エレコム株式会社が所有しています。  
・本書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。  
・本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万が一不審な点がございましたら、販売店までご連絡願います。  
・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。  
・実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。  
・本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。  
・本書に記載されている会社名・製品名などは一般に各社の商標または登録商標です。  
・本製品は、GNU General Public Licenseに基づき許諾されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundation が定めたGNU General Public Licenseの条件に従って、これらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用と思われるかもしれませんが、頒布にあたっては、市場性及び特定目的適合性についての暗黙の保証を含めて、いかなる保証も行いません。詳細については、弊社ホームページを参照下さい。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、弊社ホームページを参照下さい。尚、配布時に発生する費用は、お客様のご負担になります。